

立川公園陸上競技場改修工事の進め方について

1 概要

○立川公園陸上競技場の改修工事にあたっては、令和4年度に策定した「立川市体育施設のあり方」の大方針である、(1)より多くの市民が利用できる施設整備、(2)将来ニーズを見通した施設、(3)安全・安心で持続可能な施設を踏まえ、検討を進めていく。

○「立川市体育施設のあり方」の個別方針（種類別）の陸上競技場の今後の方向性で示した、基本計画を改定し、サッカー等を含め、より多くの市民が多目的にスポーツを楽しめる機能の付加を検討する。また、施設の再整備にあたっては、民間活力の活用を優先的に検討する。

○立川公園陸上競技場は、用途地域内の建築物用途制限に伴う調整や、河川区域の占用手続き等も必要となることから、検討を進めていく中で重視する。

○立川公園陸上競技場の基本計画改定と民間活力導入の検討にあたっては、関連して検討を行う必要があるため、基本計画改定業務と民間活力導入可能性調査を一括して委託し検討を進める。

2 スケジュールの目安

○令和11年度中の供用開始を目標とし、検討を進めていく。ただし、今後の検討状況により変更となる可能性がある。

	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		R10年度		R11年度
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
従来手法	補正予算 (9月)	基本計画改定・導入可能性調査 12か月		予算・契約 6か月	基本設計・実施設計 18か月		予算・契約・議決 9か月		解体・建設工事 21か月				供用
							許可申請等 12か月						
民間手法 (PF等)				予算・事業者選定・公募 議決・契約 12か月	基本設計・実施設計 18か月				解体・建設工事 21か月				供用
							許可申請等 12か月						

3 公認種別について

公認種別決定の過程においては、基本計画の改定作業の中で公認第3種と公認第4種を比較検討する。また、「立川市体育施設のあり方」における大方針を踏まえ、今後、議会や競技団体の意見を伺いながら検討を進める。

4 初期投資費用の検討について

初期投資費用については、必要な施設・設備等を精査し、基本計画の改定及び民間活力導入調査と合わせて検討を進める。資材の高騰等の不確実な要素もあるが、他自治体の整備事例等も参考に、可能な限り費用の縮減を考慮する。

5 庁内検討委員会について

体育施設のあり方を踏まえた検討を行うため、「体育施設のあり方検討委員会」において、基本計画改定及び民間活力導入の可能性について検討を行う。

6 令和6年度までの流れ（予定）

時 期	項 目
令和5年 6月	【6月議会】 補正予算審議
令和5年7月～9月頃	基本計画改定及び民間活力導入可能性調査委託契約手続
令和5年10月頃～ 令和6年10月頃	基本計画改定及び民間活力導入可能性調査委託契約期間
令和6年 12月	【12月議会】 基本計画改定及び民間活力導入可能性調査結果報告

※進捗については、随時、厚生産業委員会で報告する。